

H28(2016). 12. 15

「札幌圏での大規模災害対策を学び、考える」



札幌市出前講座

「災害・危機に備えて」 ～地震・風水害・土砂災害など～

札幌市危機管理対策室

1 札幌市地域防災計画等について

地域防災計画の体系

札幌市地域防災計画

地震災害対策編

風水害対策編

水防計画

土砂災害対策計画

雪害対策編

大雪時の対応指針

原子力災害対策編

事故災害対策編

放射性同位元素等事故対策計画

航空機事故対策計画

道路事故災害対策計画

鉄道事故災害対策計画

危険物事故災害対策計画

○昭和38年策定

(34年の伊勢湾台風をきっかけに制定された災害対策基本法に基づく)

○平成10年一部改正

(阪神淡路大震災)

○平成22年一部改正

(札幌市第三次被害想定)



地域防災計画（地震災害対策編）の構成

○総則

計画の目的・体系、関係機関・市民等の役割、地震被害の想定

○災害予防計画

災害に強い地域づくり（自主防災活動の推進、要配慮者の対策）

災害に強い都市づくり（防災構造化の推進、防災空間の整備）

公共施設等の災害対策（道路の災害対策、建築物の耐震化）

ライフラインの災害対策（水道の耐震化、緊急措置体制の強化）

災害情報収集、伝達システムの強化

○災害応急対策

災害情報の収集・共有・伝達、広報・広聴

応援派遣要請・消火、応急医療・救護

交通対策、緊急輸送

公共施設・ライフラインの応急対策

遺体処理、防疫清掃、応急教育対策、ボランティア活動

○災害復旧・復興計画

生活安定支援、災害復旧事業の推進、都市復興計画の策定

発災後の対応など

災害応急対策の基本方針

- ・人命救助最優先
- ・情報収集をいち早く(正確・迅速な情報収集)
- ・被災者ニーズに応じた対策の実施(経過により変化するニーズに対応)
- ・冬季の条件に応じた対策の実施(積雪による交通対策、寒さ対策)
- ・広域応援・支援体制(他自治体・他機関への支援要請)
- ・市民の相互協力

応急対策における市民等の主な役割

市民	・近隣負傷者の救出、要配慮者の救助 ・避難場所運営への協力・参加
企業	・ボランティアへの支援、自主防災活動への貢献 ・防災関係機関の活動への協力
自主防 地域団体等	・要配慮者など地域住民の安否確認や避難誘導 ・負傷者救出・救護・応急手当 ・避難場所の主体的な運営

発災後の対応など

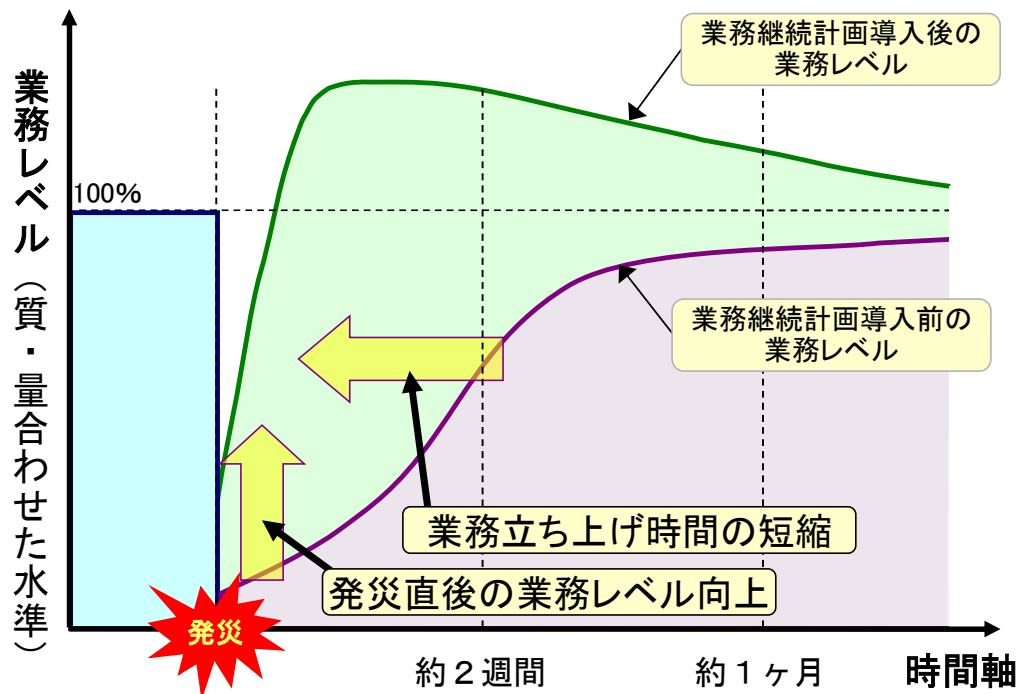
水防計画・土砂災害対策計画における市民等の主な役割

市 民	・自ら危険を察知し自主避難をすること ・地域の災害特性を把握 ・気象状況等の災害情報の収集・伝達 ・災害事象について札幌市及び防災関係機関へ通報すること ・周辺住民等の避難・救出活動等の支援 ・避難場所運営に係る支援 ・避難訓練・水防訓練等、自主防災活動への参加 ・札幌市及び防災関係機関が行う避難勧告、指示等に従うこと
自主防災組織等	・防災関係団体との協力・連携 ・防災に関する知識の普及・啓発 ・防災訓練の実施 ・災害情報等の住民伝達 ・避難場所運営に係る支援 ・周辺住民等の避難・救出活動の支援 ・地域の危険箇所の把握と情報収集・通報

札幌市業務継続計画（BCP）

<計画の目的>

大規模な地震災害が発生した場合でも市民の生命・安全の確保を図るために、札幌市として実施すべき優先度の高い業務（非常時優先業務）を選定した上で、市役所機能の低下を最小限にとどめ、それらの業務に必要な業務資源（庁舎、職員等）を適切に確保するための体制をあらかじめ整備し、継続的な改善により対応力を向上させていくことを目的とする。



応急業務
(800件)

- ・災対本部の設置
- ・被害状況把握
- ・要配慮者避難支援
など

優先度の高い通常業務
(867件)

- ・施設の維持管理
- ・患者の診察
- ・証明書等の発行
など

予め選定した非常時優先業務
(1,667件)

札幌市応援者受入計画

<計画の目的>

災害時に札幌市の行政機能だけでは対応が困難となった場合でも、他の行政機関、民間団体等からの支援を最大限活用して適切な対応が行えるように、支援を要する業務や応援受入体制等を事前にかつ具体的に定めた計画

「非常時優先業務」から応援に適した業務を抽出



業務ごとに、応援者が行う具体的内容や応援者に求める条件等を検討して受入シートを作成



災害時、応援者受入本部を設置し、橋渡しを行う。

番号	開始時期	業務名	作成更新
2	フェーズ 1（初動事務）	・ 気象予報などの受理・収集等及び各部・各区本部への伝達に関すること ・ 各種通報の受理等に関すること	H28.1

○ 受入の概要

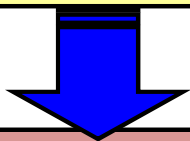
応援者が行う 具体的業務	・ 気象情報や災害情報などの受理・収集等に関すること
想定する応援者	○自治体職員 ■札幌市の他部所職員（業務経験の有無 ■有 □問わない） ■他自治体職員 ○民間の受入可否 □可 □一部可 ■不可 □民間企業 □一般ボランティア □専門ボランティア □NPO/NGO □地域住民 □その他（ ） ※「一部可」、「不可」の理由：国や道などの関係機関と調整を要するため。 ○協定の有無 ■有 □無（検討中） □無（未検討） 協定締結先：21 大都市災害時相互応援に関する協定 災害時等における北海道及び市町村相互の応援に関する協定
応援者に求める 具体的な職種・資格・条件	・ 他自治体職員の場合、災害対策本部運営経験者であることが望ましい。 ・ 本市職員の場合、災害対策本部訓練等経験者が望ましい。
単独/ペア活動	□単独活動（応援要員が札幌市職員とは別に単独で活動してもよい） ■ペア活動（原則として、応援要員は札幌市職員と一緒に活動し、単独行動は控える） □その他（ ）
応援にあたっての留意点	・ 特になし

職員の配備体制

警戒配備

事象により、特定の局・区で体制を構築

- ◆震度4の地震が発生した場合
- ◆大雨、洪水、大雪などの気象警報等や台風に関する情報が発表された場合
- ◆上記以外の災害で被害が発生し、又は発生するおそれがある場合



非常配備

災害対策本部設置

- ◆震度5弱以上の地震が発生した場合（自動設置）
- ◆警戒配備後、被害の状況等により市長が総合的な災害対策を実施する必要があると認める場合

職員動員	地震	風水害	参集規模
第一非常配備	震度5弱	警報が出て局地的災害が発生	全職員の1／3
第二非常配備	震度5強	特別警報、複数個所で災害が発生	全職員の2／3
第三非常配備	震度6弱以上	市内全域に甚大な災害が発生	全職員

災害ボランティアセンター

災害発生

情報収集・状況把握

市災害対策本部からの情報をもとに、
現地被災状況の確認・把握
札幌市・区災害ボランティアセンターの
設置場所等の方針決定

被災状況調査
(自治会・民生児童委員・関係団体等)

情報提供

情報収集

札幌市（札幌市災害対策本部）

設置 要請

24時間以内

札幌市社会福祉協議会 災害対策本部

設置判断

プレス発表
(受入の可否等)

運営準備・運営体制の決定

設置

社協職員の参集

札幌市（区）災害ボランティアセンターの設置

運営主体 札幌市（区）社会福祉協議会

72時間以内

運営開始

募集開始時期・募
集範囲の検討

閉所の判断

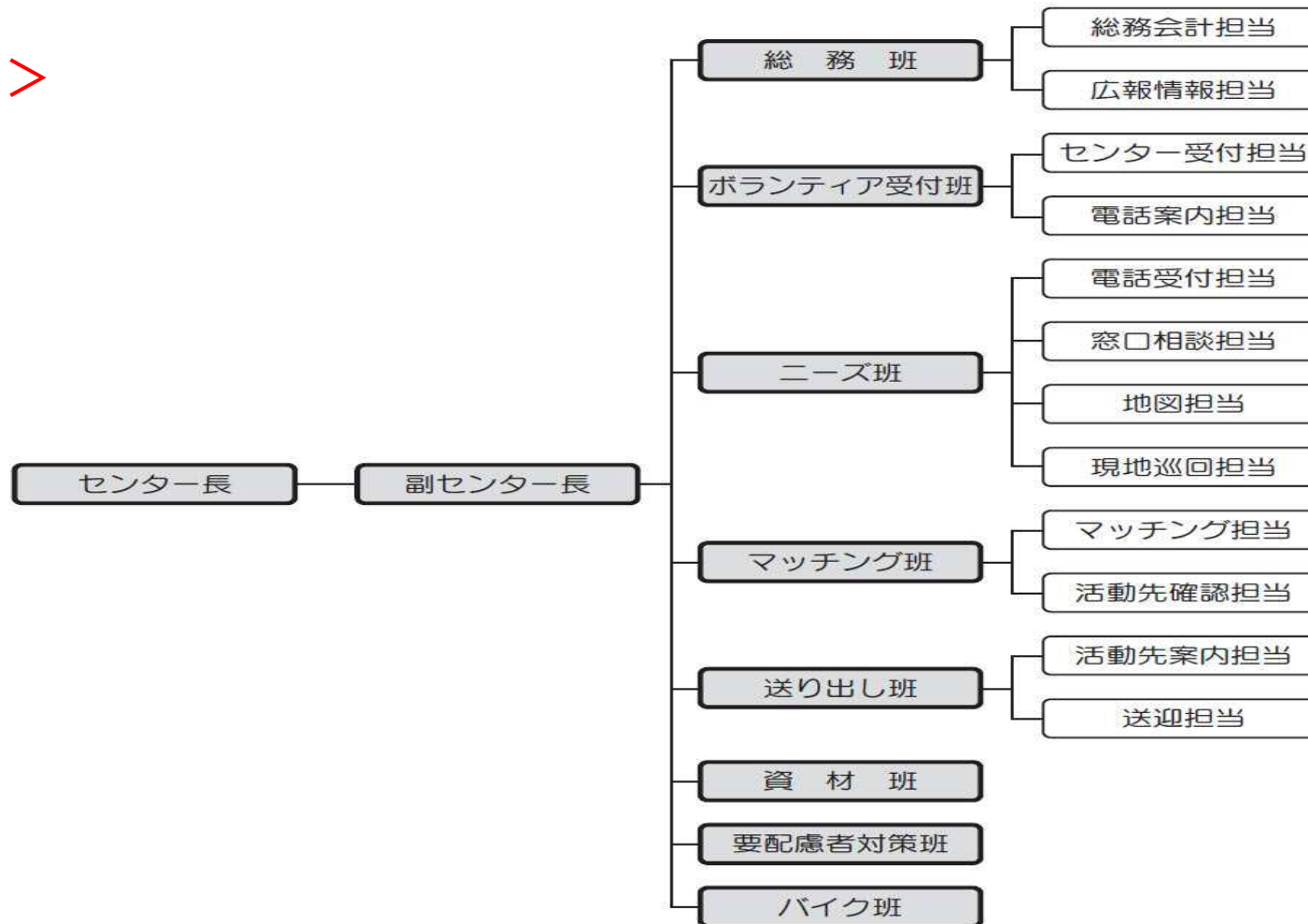
住民組織、関係機関等と検討し、市災対本部が判断

＜判断材料＞

- ・被災者ニーズの把握（聞き取り・アンケートなど）
- ・地元福祉関係機関・団体等の機能回復

災害ボランティアセンター

<組織体制>

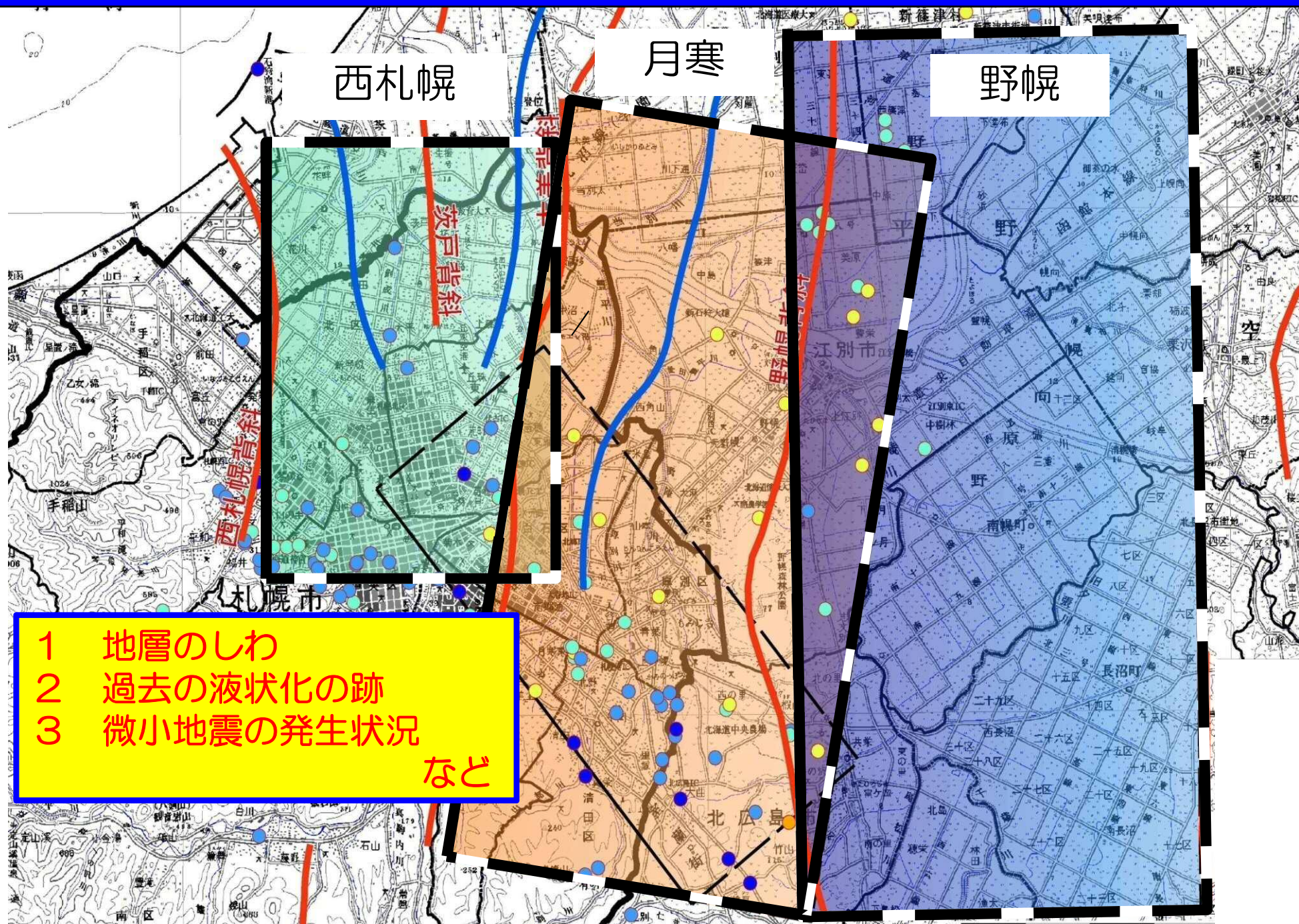


<運営スタッフ>

- ・札幌市・区社協職員
- ・ボランティア(災害・一般の登録者、ボランティア連絡会員、学生、地元住民など)
- ・北海道社協職員、道内市町村社協職員、北海道東北ブロック社協職員
- ・全国社協職員、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議メンバー
- ・災害復興支援NPO、各種専門機関・団体、青年会議所、日本赤十字社等企業、大学など関係団体

2 札幌市の地震想定等について

第3次被害想定 設定した3種の「伏在活断層」



地震動の予測（地震被害想定）

地震の タイプ	内陸型			
	活断層	伏在活断層		
名称	石狩低地東 縁活断層 (主部)	野幌丘陵 断層帯	月寒断層	西札幌 断層
マグニチュード	8. 0	7. 5	7. 3	6. 7
最大震度	6弱	7	7	7
震度6強以上の発 生面積 (km ²)	0	44	169	122
液状化発生の可能 性が高い (km ²)	20	67	93	97

被害想定

＜最大被害想定＞

月寒断層が震源、厳冬期の早朝 5 時に発生

	札幌市被害想定	阪神・淡路大震災
死者	8, 234人 (凍死6,184人を含む)	6, 434人
負傷者	34, 395人	43, 792人
避難者	110, 666人	316, 678人
建物全半壊	112, 461棟	249, 180棟
建物焼失	1, 405棟	7, 036棟

札幌市の主な防災備蓄品

※ 災害発生から24時間内に必要となる物資を備蓄

【食糧対策】

アルファ化米



【食糧対策】

クラッカー



【食糧対策】

粉ミルク、哺乳瓶



【防寒対策】

灯油ストーブ



【防寒対策】

毛布



【防寒対策】

寝袋



【トイレ対策】

簡易トイレ(洋式便座)



【トイレ対策】

紙おむつ(乳児用、大人用)



【照明対策】

ろうそくランタン



【その他】

手回し充電ラジオ



【その他】

生理用品



【その他】

LPGコンロ



3 札幌市の自主防災組織について

1 結成率

自主防災組織として登録している町内会数 ÷ 全町内会数
(2, 040) (2, 272)

89. 8%

※H28.4.1現在

2 主な活動など

○企業との協力協定を締結

災害時に避難場所を使用するダンボールの提供を受ける

○病院との協力協定を締結

病院で活用している飲料水井戸について、災害時に提供を受ける

○町内会、商店街、社会福祉協議会で自主防災組織を結成

地域ごとの避難場所マップの作成、避難所運営要領の作成、訓練の実施

○大学との連携協定を締結

訓練・研修等の共同実施、施設・人員・情報等の相互活用

○避難場所運営マニュアルの作成

自主防災組織、学校職員などが自主的にマニュアルを作成し、訓練を実施

○地域防災マップの作成など

要配慮者支援も視野に入れた地域防災マップの作成

3 札幌市の取組・支援

(1) 防災資機材の助成

- ・ 災害発生時に地域に期待される「消火・救出・救護」活動に必要な資機材
- ・ 自主防災組織の約85.5%に助成済み



(2) 防災表彰・自主防災セミナーの開催

- ・ 他の地域の模範となる組織に対し、市長表彰を実施
- ・ 表彰式にあわせ、有識者等による防災講演会を実施

(3) 防災リーダー研修の実施

- 「防災リーダー」の育成研修(座学・実技)を各区において実施
- 毎年1,000名前後が受講し、現在までの受講者累計は20,000名程度

(4) 札幌市市民防災団体連合会

- 防災表彰受賞団体を主に結成
- 自主防災セミナーの共催、会報誌の発行、定期的な意見交換などの活動

4 課題など

(1) 課題

- 形骸化
- 担い手不足
- 町内会への未加入世帯の増加

(2) 今後の取り組み

- 避難所開設の役割付与(避難場所へ暗証番号付キーボックスの設置)
- 避難行動要支援者名簿の配布・活用
- 地区防災計画制度の導入

「地区防災計画」について

東日本大震災で公助の限界が明らかになり、地域における共助による防災活動の重要性が改めて認識された。

この教訓を踏まえ、地域コミュニティにおける地域住民や事業者等の共助による防災活動に関する「地区防災計画制度」が災害対策基本法に位置づけられた。

＜ねらい＞ ～ 地域防災力の向上と、地域コミュニティの維持・活性化

＜作成主体＞ ～ 地域コミュニティ(町内会、マンション、企業等を含む地域 など)

＜計画内容＞ ～ 地域特性に応じた防災活動(平常時、災害時、復旧復興)を行うための計画

＜位置付け＞ ～ 札幌市地域防災計画に規定

札幌市の取組み

28年度

モデル地区選定

29年度

- ・ワークショップの実施
- ・計画策定に係る調整・支援
- ・地域防災計画に規定(防災会議)
- ・策定手順の整理・マニュアル化

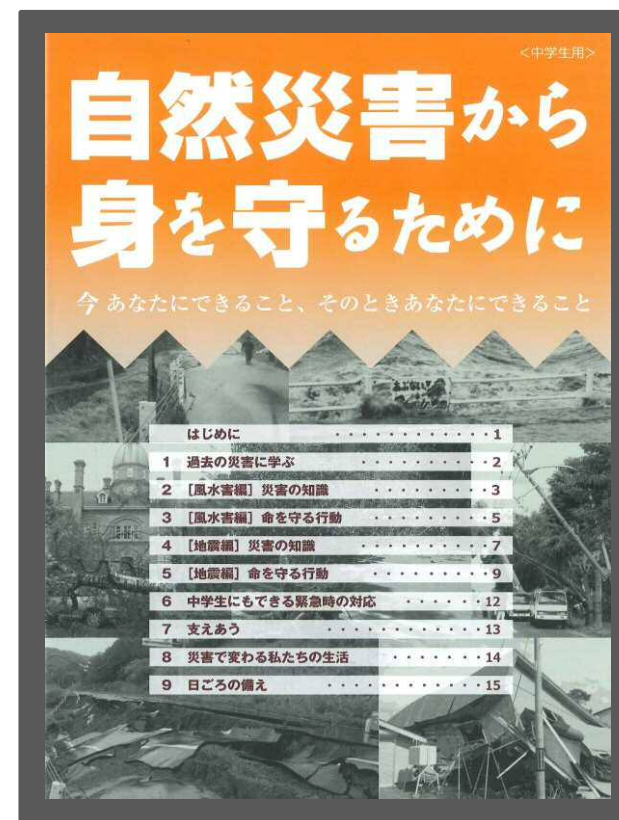
30年度以降

- ・訓練実施
- ・計画検証・見直し
- ・他地区提案受入と策定支援

4 札幌市の防災教育について

1 小中学生に対し

- 防災教育用教材の開発・配布
 - 小学生用～地震編・風水害編（各低学年用、中学年用、高学年用）
 - 中学生用～2年生対象（1時限の授業に対応）
- ※ 教員等による検討会を開催し作成
- ※ 教員用の「指導の手引き」も併せて作成



・小学校「風水害編」

・小学校「地震編」

・中学2年生を対象

※ 小学校は低・中・高学年用の3種類

2 地域・企業等に対し

- 出前講座の実施
町内会、企業等を対象に、札幌市の震災対策や日常の備え、地域等における連携の必要性などについて講座を実施。
 - H27 ～ 40回 1,463名
 - H28 ～ 61回 2,418名(11月末現在)
- 研修会の実施やパンフレット等の配布
 - 防災リーダー研修や自主防災セミナーの実施
 - 各種パンフレット等の配布
一般家庭向け、マンション住民向け、企業向け など
- ほっかいどう防災教育協働ネットワークへの参画
 - 構成員による情報共有・発信、事業連携 など

3 課題など

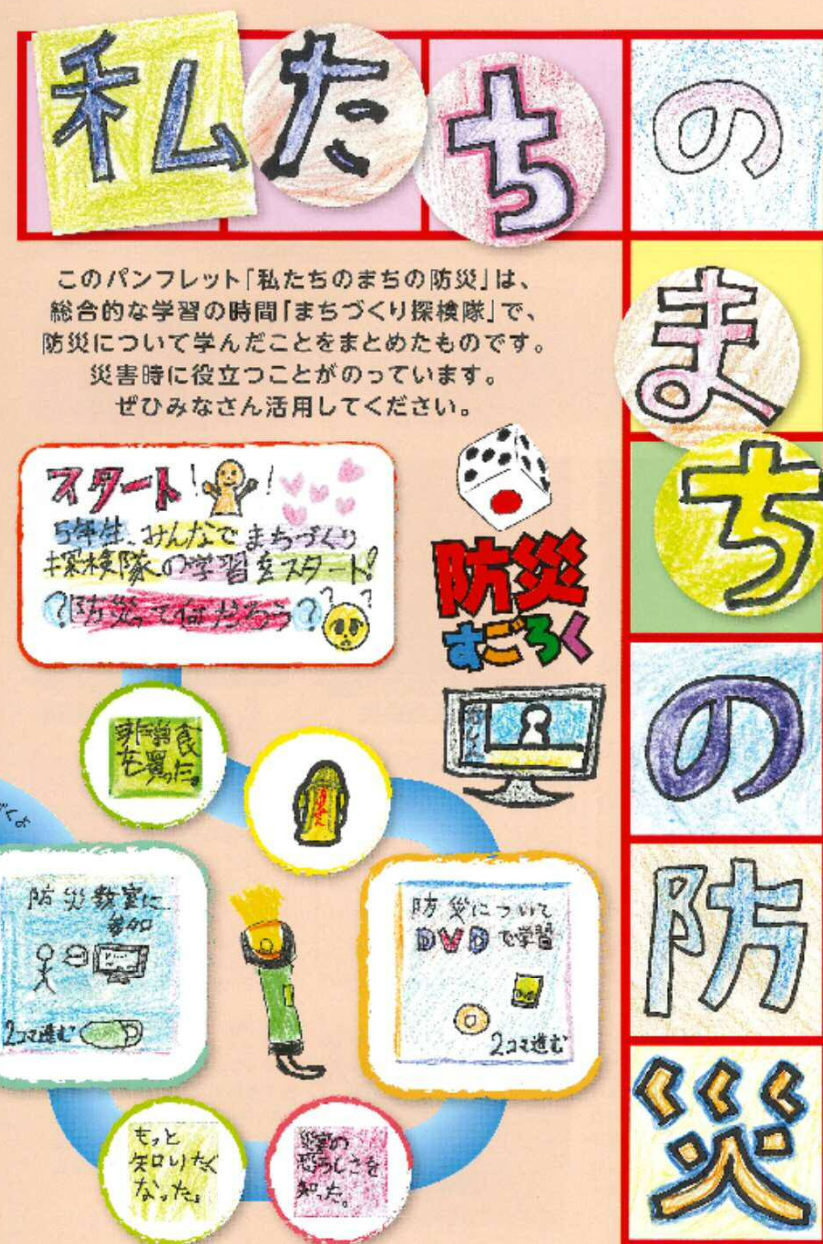
- 次代の担い手である「働く世代」に対する普及啓発
- 企業に対する地域防災活動への参加促進
- 小中学生に対する、より効果的な防災教育の推進



平成28年度
琴似中央小学校 5年生 制作

類似中央小学校ホームページ
<http://www.kotonichuo-e.sapporo-c.ed.jp/>

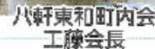
発行年月日 平成28年12月15日



災害時の備えをしていない人が **30%も!**

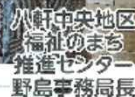


札幌市では男性に面えるためパンフレットなどを市に配布しています。しかし、3日電灯やガス食料などの購入をしていない人が30%いるそうです。例がまこった除、人員は12月、13日は、日曜です。日曜と、日曜で日曜の身を守ることで、2月1日、日曜です。夫れと、ともに1月1日入ります。とです。



災害のときに、助けてくれる人
が一番多いのは消防や警察の人
ではなく、地域の人です。

町内会では、緊急対応訓練を
実施しました。消防隊と合同で
たんがや消火器の扱い方や心肺
マッし、救急の仕方の訓練を行
いました。



酒とタバコ推進センターでは、
高橋孝や佐藤の鶴いといふ点、製煙の
肉によりが必要人を平世するため
に2週間を行なっています。そして、
1970年10月4日の45の町内会と協力
して、定規をつらげをやることに
なっています。

感想1 映像を見せ
もらったり実際に寝袋に入れて
もらったりして、避難所の様子を
しく知ることができました。い
ち起るが分からない災害に向
て、備えをしない、もしものときは
け合う心を大切にして行動しな
てはいけなと思っています。



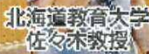
感想2 札幌でも災害があったことを知りました。町内会でも防災訓練を行っていることや、共に助け合う共助の考えを大切にしていることが分かりました。家族と防災について話をする機会もつくりました。

DIG(災害図上訓練)の活動

災害時の
合言葉は

おうた

お = 落ちてくる物はないか
 ち = 重くいてくる物はないか
 た = 倒れてくる物はないか



そして、学校から帰るときや遊んでいるときに地震が起きたらどうしますか? おお「お」はおおきい、地震時に助けを求めるために声を出すと破れてしまいます。音を「う」の字で強めて使いますよ。普段から地域の人としっかりお話しをして人とのつながりが大切になります。

感想 佐々木教員にたくさんのことを教えていただきました。災害で物が落ちてきたときの助けの仕方、実際に見せて教えてくださり、私たちもやってみてよく分かりました。トイレの個室に隠し込められてしまったときにはどうしたらよいのかなど具体的な状況について考えました。

同じ町内会の方々と大きな地図を囲んで、避難場所や近くの火のどや消防栓、公衆電話の位置を確認した。災害時には、どこに避難するかとよいのが、水がもたらえる場所はどこなのか。どの道を走るとよいのかが分りました。

校区の地図



● 水色……消防栓
● 青……公共電話
● 綠……公園
● 黃……教室
● 赤……病院
● 灰色……雜貨店、
其他設施

「防災」をテーマとして、専門家などの授業を受けたり、自分たちの街にある関連施設を見学したりして、地域防災について理解を深める。また、その集大成としてパンフレットを作成し、地域向けに発表会を実施。(今年で10回目 主催:まちづくりセンター)

5 災害時における相互支援

1 熊本地震

政令指定都市による災害支援の枠組み「広域・大規模災害時における指定都市市長会行動計画」を適用し、熊本市に対する集中支援を実施

- ・4月14日 前震発生(21時26分)
- ・4月16日 本震発生(1時25分)、行動計画適用決定(15時00分)
- ・4月17日 物的支援要請
- ・4月19日 人的支援要請

物的支援

	種 類	数 量
①	簡易トイレ	200基
②	便凝固剤	10,000個
③	排便収納袋	10,000枚
④	アルファ化米	28,000食
⑤	水(500ml)	10,000本
⑥	給水袋	30,000枚
⑦	粉ミルク	1,200食
⑧	紙おむつ大人用	1,360枚
⑨	紙おむつ子供用	11,960枚
⑩	生理用品	45,000枚
⑪	照明付ラジオ	200個

人的支援

	業務種別	期間	派遣人数
①	現地本部・派遣職員支援	4/25～5/20	14名
②	避難所運営支援	4/27～5/18	175名
③	り災証明発行支援	5/3～5/31	20名
④	建物被害認定調査	5/3～8/31	82名
⑤	応急危険度判定	4/23～4/28	12名
⑥	DMAT(災害時派遣医療)	4/16～4/18	5名
⑦	DPAT(災害時派遣精神医療)	5/7～5/12	4名
⑧	下水道管路調査	4/22～5/25	12名
⑨	水道漏水調査	4/29～5/9	12名

※ ①～④ 行動計画に基づく支援
⑤～⑨ 関係省庁・機関の要請に基づく支援

2 平成28年台風10号

北海道内各市町村の相互応援協定に基づき

- 南富良野町へ職員派遣(住家被害認定調査 2日間4名)
- 清水町へ職員派遣(災害査定業務11名 各10日から2週間程度)
- ※ 清水町へは、31年度末まで復興支援職員を継続派遣予定

3 東日本大震災

大都市間の相互応援協定、地方自治法に基づく派遣など

- 食料・日用品等支援物資の送付
- 延べ1,000名を超える職員派遣
- 住宅・就労・生活等支援
- 被災者支援活動への助成(さぽーとほっと基金から)
- 被災自治体へ復興支援職員を派遣中

4 その他

北海道の地理的要因から、札幌市を含む北海道内での災害発生時に、迅速・的確な応援・受援体制を確立するため、北海道と札幌市で協議を進めている。

6 避難情報のお知らせ

過去の被害

昭和56年災害（台風12号、15号）



茨戸、篠路、屯田付近



南区真駒内川

台風15号(8/21-23) 雨量207mm/日
死者1名 家屋全半壊11戸
床上浸水1,271戸、床下浸水8,921戸
被害総額 4,345百万円

台風18号災害

平成16年9月8日



最大瞬間風速 50.2m/s

＜被害状況＞

死者 4名

負傷者 92名

倒木 1万9千本

停電 6万世帯



平成26年9月11日 豪雨（大雨特別警報）



南区滝野



清田区有明御料線



厚別川 高木橋



清田区有明御料線

避難情報

危険度・緊急度

避難指示

災害による危険が目前に迫っている場合に、逃げ遅れた人に、直ちに避難することを促す情報

避難勧告

災害による危険が及ぶ可能性があるため、発令された地域の方々に避難を勧め促す情報

避難準備情報^(※)

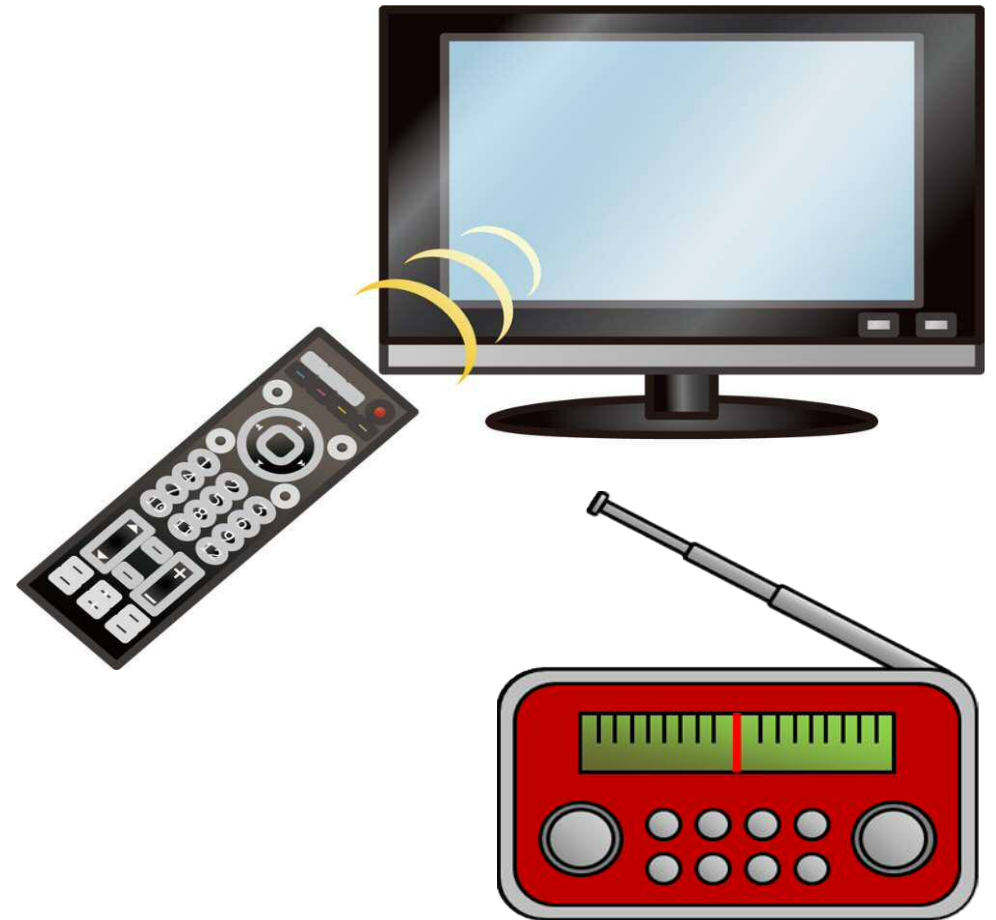
市民が事前に避難のための心構えをし、避難時の携行物の準備等をするための情報

※ 洪水予報河川(石狩・豊平・新川)の洪水、土砂災害のみ

避難情報のお知らせ

広報車・消防車・パトカー

テレビ・ラジオ・ホームページ



避難情報のお知らせ

電話連絡網



フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号
	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号
フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号
	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号	フリガナ 氏名 電話番号

連絡を受領次第、すみやかに次の人にまわしましょう。
次の人に連絡がつかない場合はその次の人にまわし、時間をあけて再度次の人に電話をかけてください。
最後尾の人(*)は、連絡を受領次第、先頭の人(①)に電話をかけた連絡が伝わったお知らせください。

緊急速報（エリア）メール



2016.8.17 18:04

厚別区避難準備情報

札幌市です。厚別区厚別東4条8丁目に土砂災害の避難準備情報を発令しました。今後、避難勧告発令の可能性があるため、避難の準備をお願いします。また、高齢の方など避難に時間のかかる方は、避難所か丈夫な建物の2階以上の山側から離れた部屋に避難してください。対象区域や避難所はハザードマップ、テレビ、ラジオ、HP等を参照ください。

札幌市

避難情報のお知らせ

私は、中央区に住んでいて全然関係ないのにメールが来るのはなぜ？

何度も同じようなメールが来てうるさいから、送らないようにできないの？

○家族や知人が避難情報の対象区域に居住していて心配！

○対象区域が勤務先や通学先なので情報が欲しい！

安全の確保のため、市内全域にメールを配信

7 付 録

札幌市防災情報マップ

札幌市役所HP

札幌市防災情報マップ



[FAQページへ](#) | [さっぽろの災害情報トップへ](#)



全体図から指定



住所検索・目標物検索から指定

区	
字	
丁目	
決定	

主な目標物から指定

●区役所検索

[中央区役所](#) [北区役所](#) [東区役所](#)
[白石区役所](#) [豊平区役所](#) [南区役所](#) [西区役所](#)
[厚別区役所](#) [手稲区役所](#) [清田区役所](#)

●駅名検索

[JR札幌駅](#) [JR琴似駅](#) [JR手稲駅](#) [JR新札幌駅](#)
[大通駅](#) [すすきの駅](#) [麻生駅](#) [真駒内駅](#) [福住駅](#)

●目標物検索

[札幌市役所](#) [北海道庁](#) [円山公園](#) [中島公園](#)
[北海道大学](#) [札幌ドーム](#)

札幌市防災情報マップ

表示設定

地震防災マップ

※ 地震に対応した指定緊急避難場所を表示しています。

☒ 震度

☐ 液状化危険度

☐ 建物全壊率

地震防災マップの作成条件等について

洪水ハザードマップ

※ 洪水に対応した指定緊急避難場所を表示しています。

☐ 石狩川

☐ 豊平川

☐ 新川

☐ 厚別川

☐ 月寒川

☐ 望月寒川

☐ 野津橋川

☐ 猪苗川

☐ 星置川

石狩川、豊平川(下流)、新川のマップ作成条件等について

上記以外の河川のマップ作成条件等について

土砂災害マップ

※ 土砂災害に対応した指定緊急避難場所を表示しています。

☐ 土砂災害警戒区域・特別警戒区域

☐ 土砂災害危険箇所

土砂災害危険箇所について

土砂災害警戒区域等について

指定避難所マップ

☐ 指定避難所

指定避難所及び指定緊急避難場所について

詳細情報

地震防災マップー計測震度

項目名	値
震度	震度6強
液状化危険度	液状化発生の可能性が低い
建物全壊率	5%以上10%未満全壊

1/1

検索

Copyright City of SAPPORO

1/2500 1/5000 1/10000

■クリック:防災情報を表示します ■ドラッグ:地図を移動します
■スクロール:キーボードの矢印カーソル、または地図画面左下の矢印ボタンで移動します

・表示された情報(指定避難所等を除く)は、一定の条件をもとに想定した結果です。実際の災害は想定した結果と異なる場合があります。
・「洪水ハザードマップ」において、2種類以上の浸水深が表示されることがありますが、より深い方を参照ください。・避難所の詳細情報は、札幌市防災情報マップの「避難所」ページをご覧ください。

詳細情報

地震防災マップー計測震度

項目名	値
震度	震度6強
液状化危険度	液状化発生の可能性が低い
建物全壊率	5%以上10%未満全壊

1/1

閉じる

全体図

札幌市防災情報マップ

札幌市防災情報マップ

表示設定

地震防災マップ

※地震に対応した指定緊急避難場所を表示しています。

☐震度

☐液状化危険度

☐建物全壊率

[地震防災マップの作成条件等について](#)

洪水ハザードマップ

※洪水に対応した指定緊急避難場所を表示しています。

☐石狩川

☒豊平川

☐新川

☐厚別川

☐月寒川

☐望月寒川

☐野津幌川

☐猪道川

☐星置川

[石狩川、豊平川\(下流\)、新川のマップ作成条件等について](#)

[上記以外の河川のマップ作成条件等について](#)

土砂災害マップ

※土砂災害に対応した指定緊急避難場所を表示しています。

☐土砂災害警戒区域・特別警戒区域

☐土砂災害危険箇所

[土砂災害危険箇所について](#)

[土砂災害警戒区域等について](#)

指定避難所マップ

☐指定避難所

[指定避難所及び指定緊急避難場所について](#)

詳細情報

洪水ハザードマップー想定浸水深

項目名	値
豊平川の氾濫による 想定浸水深	0.5m未満

1/1

クリア

検索

Copyright City of SAPPORO

1/2500 1/5000 1/10000

■クリック:防災情報を表示します ■ドラッグ:地図を移動します

■スクロール:キーボードの矢印カーソル、または地図画面左下の矢印ボタンで移動します

・表示された情報(指定避難所等を除く)は、一定の条件をもとに想定した結果です。実際の災害は想定した結果とおりとは限りません。

・「洪水ハザードマップ」において、2種類以上の浸水深が表示されることがありますが、より深い方を参照ください。

・避難所の詳細情報(指定避難所等)を表示する場合は、マウスの中クリックしてください。

全体図

詳細情報

洪水ハザードマップー想定浸水深

項目名	値
豊平川の氾濫による 想定浸水深	0.5m未満

1/1

クリア